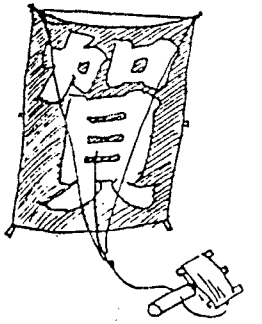


ひのだいじん

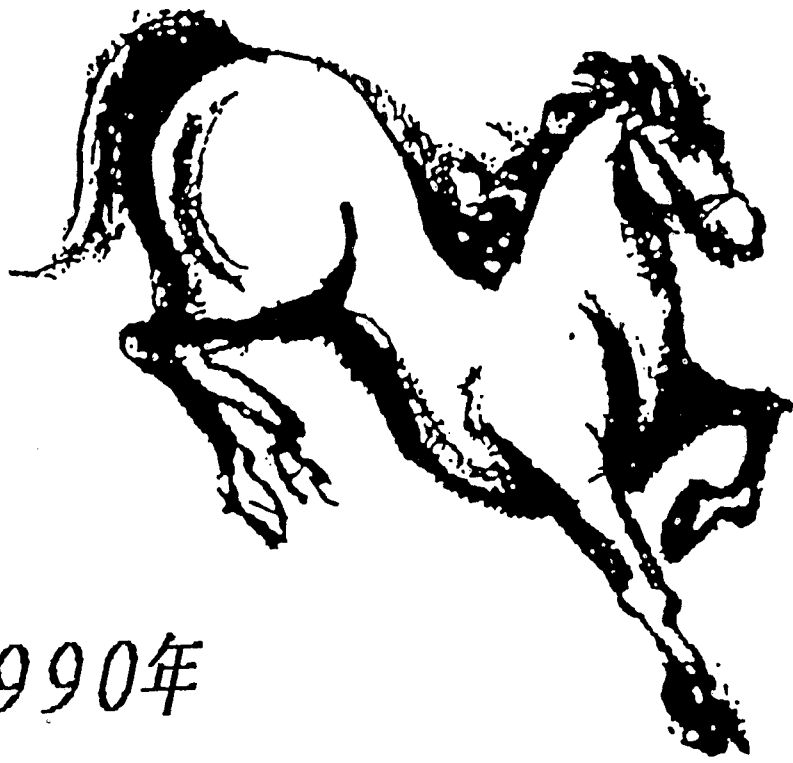
No. 23

ひのだいじん
編集局
ひろく先
健生会 日野台
診療所内
81-6175

90.1.13



頌春



1990年

あけましておめでとございませう。

今年、二十世紀の終わりの十年の始まりの年で、国の政治の方向を決める総選挙の年、日野市にとっては市会議員選挙の年、そしてこの日野台診療所にとつては創立四十周年の年です。これだけ肩書が多い年もめづらしいものだと感じしております。働く人たちのための民主的な医療機関、民医連の職員である私達はこれらのすべての課題に無関心であることは、できません。とくに、日野台診療所に勤務するものとして、困難な状況の中で産声をあげ、片時も休む事なく歩み続けてきた日野台診療所のこの四十年間を見つめたいと思いました。

新年おめでとございませう。

落語家の江戸屋猫八さんが「私はね、いのちより健康が大事だとおもっています。」と書いていました。

猫八さんは、「生きていても病気で寝たきりでは、楽しくないでしょう。だから健康でいれば命のほうでついでくる、というもんですよ。」と書いています。

兵隊にとられたとき十貫(四十一キロ)しかなかった猫八さんは機関銃がかつげなかつた。広島で原爆にあい、戦後も体が弱くて休み休みしながら仕事をしました。

その後、二人の子供を残して細君に先立たれた猫八さんは、この子を育てるために、と一念発起健康づくりをはじめたそうです。

私たち健生会協力会も病院・診療所のご協力のもとに保健学校や健康チェックなど健康づくりをすすめています。さらに今年、立川相互病院の増築・増床を完成させる予定です。ご家族、友人、ご祈の方々みんなの協力で病院の充実を実現させたいものです。

一九九〇年、二十世紀最後の十年がはじまりました。人間のいのちと平和なくらしをなによりも大切に作る時代になりますよう、みんなできなごあつていきましょ。

協力会 日野部 赤松 美彦

この辺りが日野村であったころ、のどかな田園風景が広がっていました。昭和十七年、この日野台に忽然と戦車をつくる工場がたちその周辺に労働者の街ができました。当時は衛生状態、栄養状態が劣悪な中、結核が蔓延し老若を問わず貴いいのちがうしなわれていきました。昭和二十五年その無医地区に、伊藤一良氏の仲介で、慶応大学のインターン生達が登場で診療をはじめました。その後、初代の所長を迎えるまでの苦勞、お金がなくて顕微鏡一台も買えなかつた話、診療所が私物化され裁判で争った話、健生会として再出発した事などが、走馬燈のようにつらめくりまわります。そして、この四十年間日野台診療所を支えた人々の、病氣と貧困を克服しようという熱い思いが伝わってきます。

時代は移り変わっても、人々の健康への願望の強さは、変わりません。先頃行われた世論調査でもあらゆる願望関心事の中で六七割の人が「健康」を一位にあげていました。私達診療所職員は、皆様と力を合わせ健康を守る運動をさらに力強く押し進めていきたいと思っております。

日野台診療所 所長 佐々木 弘子

新年おめでとございませう。

皆様御元気でよい年をお迎えのことと思います。どうぞ本年も相変わらずよろしくお願いいたします。

さて現自民党政府が吾々老人に対し差別的な医療政策をとっている事は日本共産党の不破委員長が議会で政府を追及したところをテレビにて御覧になったことと思いますが、老人からよく言ってくれたと感謝の言葉が党本部に届いたとの事でした。年金問題にしてもわかりやすく、消費税にしても吾々弱い者には大きな打撃です。共産党がいつている

三点セット即ち消費税廃止・米輸入自由化問題・金権腐敗政治の掃蕩のために来る総選挙と市議会議員選挙で日本共産党を躍進させ、自民党が過半数をわるように頑張りましょ。吾々医療にたずさわる者は大いに民主的な医療活動に活躍する事を皆様に誓いたいと思っております。

年頭にあたって少しく駄弁を申しましたが、御客教下さいませ。

日野台診療所 元所長 大石 誠



ことは、先生の
ご指導を守って健康に
気をつけせつ、かくなおつ
た大病を悪くしないように
過ごしていきたいと思いま
す。日野台診療所・立川相
互病院の先生、看護婦のみ
なさま、どうぞよろしくお
願いします。

程久保 垂水 当子

七年間心臓を悪くして娘も
心配しておりました。診療
所にかようようになり、以
前は、一度も家からでられ
なかつたのですが一週間に
五回も家をでられるようにな
りました。声もおおきく
なつたとカラオケにかよう
ようになりました。食事も
おいしくなりました。感謝
いたしております。今年一
年先生の言うことを守って
健康に過ごしたいとおも
います。

程久保 田中 京

昨年一年、元気ですこす
ことができました。いまま
でよわかつたからでも寝込
まずに過ごせたことを感謝
しております。

これも診療所のおかげだと
考えています。今年もご
指導いただいで、健康

につとめたいとかん
がえています。

程久保

永谷 ハツ

今年、午年。私は農家の
生まれなので馬牛をかって
いました。おとなしくてと
てもよく働くので好きでし
た。最近こんなことを考え
るようになりまして。丈夫
で馬車馬のように動けたら
どんなに幸せなことだろう
か。馬車馬まではとてもい
きませんが健康の許すかぎ
り、少しでもお役にたてれ
ばと思っておりますので、
今後ともご指導ご協力お願
いいたします。

健康はうれしい。
薬を要せぬことは
めでたい
健康なるが故に
弱きもののために働き
薬価を要せぬが故に
人のためにささげる
かくてこそ
健康が活きている

著作 後藤 静香代

日野台四丁目

水野 イチ

迎春



自分のありがたかつたこと
十六年前心臓の発作でたお
れ、立川相互病院にかかり
よくなりました。診療所に
も、夜苦しくなることがあ
り、水野先生にお世話にな
りました。ありがたと思
っています。二十四時間安
心できていること、自分の
病気をみつめていたのだ
ことをありがたくおもって
います。

程久保 今井 ゆりこ

一年をふりかえって

患者のわたしにとつては、
看護婦さんの交替は、残念
でならない。真田婦長さん、
佐々木さんたいへんお世話
になりました。かわつてこ
られた佐久間婦長、竹崎さ
ん、ベテランのかたがきて
いただいたので心強く思っ
ています。対応での心遣い
親切さがよくわかります。
本当によい看護婦さんがき
てくれたとおもっています。
本年もよろしく

多摩平 清水 清

迎春

健勇衰えがみえてきた
昨今ので、偏食せずに
三食表をつらぬき、
歩け歩けをおこたらず、
明るく話を心がけ、
薬はけさず、
身心健康維持に
精をだす。
馬年、心の希望です。

日野台 五丁目

横田 富春

立川相互病院の増床（東京
センタのオープンする）
今年、生会の理事のひと
りとし皆さんと力をあわ
せて国医療の充実にむけ
てがなります。日野市の
共産党市議団のひとり
として日市立病院の拡充と
多摩川歩いて通える地域
に特別老人ホームの建
設を突したいと考えてい
ます。

健生会 理事

初町 板垣 正男



今年も一日を精いっぱい楽
しく健康にすごせるように
おくりたい。一人でも心の
通う友達をつくりたいとお
もいます。協力会の会員を
増やして診療所に感謝しな
がらがんばっていきたく
おもいます。

程久保 三石 節子

いなかからで、三石さん
の世話になり、健生会を紹
介され十何年診療所に通っ
ています。いっしょうけん
めい病気になるまいよう
にがんばっています。どうぞ
よろしくお願ひします。

程久保 車田 ハツ

今年のお正月ははじめてス
キー場ですごしました。ス
キー学校でふみつけターン
という技術を習ったので
が、両方の板でしっかり大
地をふみつけるとそれまで
斜めにすべっていたスキー
は、下方をむきターンの準
備にはいっていくのだそ
うです。二十一世紀までと
十年、生活の場でもしっか
りと大地をふみつけ、私た
ちの二十一世紀になるよう
な方向にスキー板をむけて
いきたいと思ひます。

協力会

若森 美智恵



健生会 新年会
おししにひよつとこ
おどり・皆さんの健
康を祝ひました。
「みんなの会」発会式
森田市長革新市政を
まもり発展させる会
アルミ缶回収はじま
りました。

一月
健生会 新年会
おししにひよつとこ
おどり・皆さんの健
康を祝ひました。
「みんなの会」発会式
森田市長革新市政を
まもり発展させる会
アルミ缶回収はじま
りました。

この一年
のとりくみ
一九八九年

一月 選挙戦スタート

地域懇談会

診療所「糖尿病教室」

「日野台みんなの会」

代表 大下博

四月 第五期革新市政

森田きみおさん圧勝

五月 憲法記念行事

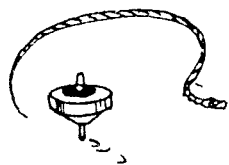
「寝たきり老人のいな

いデンマークの福祉と医療」

国民医療をまもる

共同行動の提起

一九八九年 一年を



ふりかえって

この一年をふりかえってみると昨
年秋ごろから様態悪化の一途をた
どった昭和天皇も一月七日早朝崩
御され年号も平成と改め日野市で
は市長選に突入一致協力で森田市
長さん第五期を迎えることができ
協力会一同万々歳。これに追い打
ちをかけるように村松さんの立候
補これは残念でした。参議院の内
藤さんも涙をのみました。しかし
まげられません。

四十周年の年を

むかえて

あけましておめでとございませ
日野台診療所は、今年五月創立四
十周年をむかえます。これを契機
に診療所の歴史をまとめたく、協
力会会員の皆様方のご協力をお願
いする次第であります。

記念行事を企画するにあたって
昨年末に野波康夫さんをはじめ、
設立にたずさわる方々を招いて座
談会をおこないました。一九五〇
年（昭和二十五年）日野自動車の

九月初めには、第三回高齢者大会
に参加。ぐったりする程の暑さの
中有意義な全国の高齢者の方々の
はりきったお話を聞き私達も考え
を新たに日野健康まつりを
い診療所所長さんを初め看護婦さ
ん、立川相互病院の先生方お忙し
い中いろいろとご指導下さいまし
て有難うございしました。十二月二
十五日には、市長との懇談会がひ
らかれ、お忙しいなか、市長さん
には時間をとおとりくださいまして
日野台經由バスの問題、特別養護
老人ホーム、下水道利用の見直し
など地元板垣議員などに説明があ
りました。今年一年間波乱の年で
した。一番頭にきているのは何と
いっても消費税です。

日野台二丁目
高瀬 フサ子



労働者や地域住民の健康をまもる
ためのたたかひの中からうまれ、
その後も地域住民の支援のもとで
発展してきた診療所の歴史の一端
が紹介されました。

現在、医療をとりまく厳しい情
勢のもとで民主医療連合（通称、
民医連）の一診療所として、四十
年間の歴史、成果をまとめておく
ことは、たんに歴史を編纂するに
とどまらず、第一線の医療を担う
診療所の存在意義を問なおしてい
くよい機会ともなります。協力会、
地域住民の皆様健康をまもる運

おめでとうございます

おめでとうございます

日頃は日野台診療所に体ほほうは
一切御任せし安心しきつてくら
してあります。有難いこととおも
っています。

さて私は先頃といつてももう昨
年の事になりますけれどもま
始めて経験いたしました。それは
八十歳を越えてから胃カウラをの
んだことです。さして大害をした
事のない私にとってこれは世紀の
大事件ともいふべき事柄でした。
なにしろ始めての事ですから経験
した方達からいろいろと話を伺っ
て一応（どうもあまり気持ちのい
いものではないらしい。）との結
論をだしそれなりの覚悟をいたし
ましたところが、生来の暢気者の
私は、ベットに上がって緊張す
ることもなく自分でもきかぬう
ちにスルリとのみこんでしまっ
たのです。

動にとつても新鮮な教訓となるで
しょう。是非ご理解のうご協力
のほど宜しくお願いいたします。
なお、編集、執筆については、
日野市在住の作家、山岸一章氏に
お願いすることとなりました。ご
了承ください。

先生からも看護婦さんからも上手
上手とほめられました。それです
っかりいい気持ちになった私は、
「胃カメラなんて毎日のんで平
気よ」なんて得意になって皆に宣
伝しました。常々少々血圧が高い
位で健康いや頑健だと思ひ胃の存
在なんて感じた事もない私の胃の
組織に変化があったのです。イヤ
ーこれはすこしばかり驚きました。
へー私がまさか！と何度も自
問自答いたしました。

それにもましてショックだったの
は最近手術した方が私と一ランク
違わない程度でした。さすがに私
も「アラッ」と一瞬息のみまし
た。もし今度、検査していな
かったらこれは来年あたりいきな
り手術という立場になったかもし
れません。本当に早くみつかって
（あまりいいものではありません
けれど）よかったですと思っています。
先生をはじめ皆さん方どうも有難
う御座いました。日野台診療所に
祝福を送りたい気持ちで一杯です。
これからは「内臓と口だけは達者
よ」なんて言っておられませんか
らストレスをためない様安眠でき
るよう心がけ変化した組織。それ
は今更仕方ありませんから大切に
抱いていききたいと思ひます。
「早々早期発見」で形もない内に
見つかればこれからの生活態度決
めたいは先ずはめでたしめでたしと
したいところです。

程久保 月館 ユキ

日野台診療所

事務長 渋谷 直



六月埼玉・熊谷小児病院
見学会
協力会 総会

七月東京都 都議選

八月成人基本健康審査

やきとりパーティー
参議委員選挙

自民党 過半数ワレ

九月第二回高齢者大会

に代表四名参加

十月健康まつり

多摩平運動会

健康チエック

十一月燃える雪 観劇

協力会基本検診

医療懇談会

栄町、日野台で

協力会員六百名に

「共同行動」日野連絡会

十二月

四十周年記念

実行委員会

もちつき会



一九九〇年

健生会協力会

新年会

一月三十一日

午後二時より

日野台地区センター

会費 八百円

協力会日野台



お薬



新年おめでとございます。立川の多摩薬局から、週三回、調剤に来ていますが、佐々木所長をはじめ診療所スタッフや患者のみなさんに暖かくむかえられ楽しく仕事をしています。またきびしくきたえられてもいます。診療所の薬局は、こじんまりしているのが患者さん一人一人と親しくお話できるのが

日野台の下水道 三年後完成をめどに

小宮の下水処理施設工事現場を
見学に

一月四日下水処理施設を見学に行ってきました。宇津木台へむかうバイパスの途中、多摩川の河川敷におおきく塀にかまされてその施設はありました。板垣市議ほか数名でかけたところ、休日にもかかわらず現場の主任の方々が快くむかえてくださり、一日に三十六万トンの処理能力があること、平成二年度完成の予定であることこの施設と日野台をむすぶ石川かんせんがまだ未発注であること、などを丁寧に説明してくださいました。昨年の市長選挙のときから懸案の課題としてだされている下水の問題、はやく実現してほしいものです。工事現場のおおきいこと、まだまだ都の対応がおくれていることが痛感されました。日野台二丁目の池田さん、感想は、「たいへん勉強になりました。完成のために、住民の運動にとりくむ必要があります。」

な魅力です。

お薬を渡すときも丁寧に説明をしたり、皆さんの質問にも答えたと思っています。薬に効き目についての説明書を添えています。自分の飲んでいる薬がよく解って安心だと喜ばれています。また、患者さんや地域の人達と、膝を交えて薬のことだけでなく何でも話し合える機会を作りたいですね。皆さんの御意見をききながら医療をよくするために共に頑張りたいと思います。

薬剤師 金川

輪切りの胸

多摩平 小林 理子

「結論からいうとなんでもなかったんだけれど、おじいさん(私の夫)病院で胸を輪切りにした写真撮ったのよ。」C・Tスキャナーのこと、わたしはなれ住む娘へかけた電話である。一応こういう事は知らせておいた方が親孝行の刺激になると思っただからである。ところが娘の回答たるや「それで輪切りにした胸元通りにしてかえしてくれたいでしょうね。」あきれたけれどこれも彼女なりの父親へのいたわり方であるとうけとめた。

編集後記

新年特集号をだしました。新年にあたりおもうこと。として原稿を依頼したところ多くの方から、御寄せいただきました。ただ「ひのだいしんぶん」も今年で三年目、日野台診療所の歴史とは、比べるべくもありませんが、ささやかながらも、時代時代の会員のみなさんの気持ちをとらえながら、つづけていきたいとおもっています。昨年一年間を振り返ってみたいへんな一年でした。九号を発行し四十六の記事あらたに十二名のかたの記事をおくっていただきました。エッセイあり作品あり、ますますパラエティにとんできました。さてさて今年一年どんな記事がとびだしてくるやら、ますます忙しい一年になりそう。な予感があります。やっぱり消費税は廃止しなくっちゃ

編集担当 八戸 剛

月に二回ほど都心へでるのに合計百五十歳の夫妻が百九十ほどの駅々の階段を上り下りしてけっこう息も切れず足も痛まないのは、自然豊かな人情の暖かいしかもよい市政に恵まれ、更に健生会とのめぐり逢ったおかげと思っている。この仕合わせを自分達だけのものとせず今後増え続ける老人達が生き生きと過ごせる社会を進めなければ！など口はばったい事を語り合っているものさして何ができるか新しい年の宿題である。



	月	火	水	木	金	土	
午前 9:00~12:00	佐々木 増田	小林 値夫	佐々木 大石	佐々木 大石	宮地 大石	佐々木 児尾	135 24週 毎週
午後 2:00~4:00	増田	値夫	休珍	佐々木	休珍		
夜間 6:30~7:30	田丁		滝田 (隔週) 休		上田		